

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

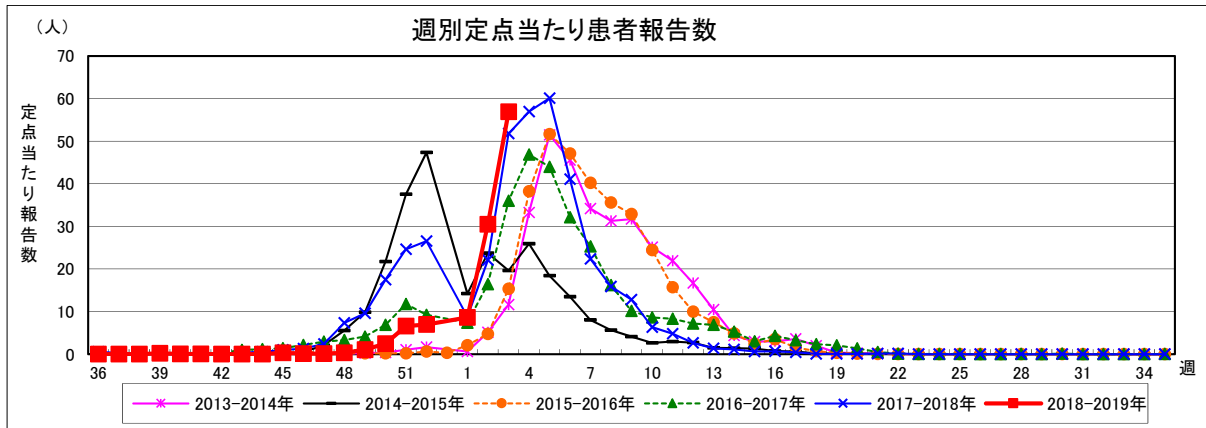
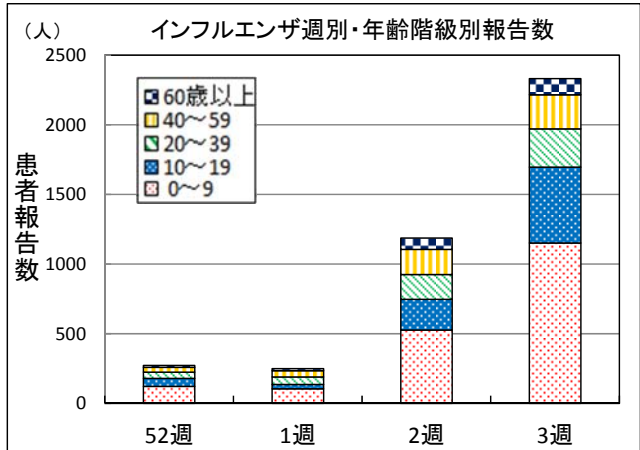
2018-2019 年シーズン 第 3 週(1 月 14 日～1 月 20 日)

1 市内のインフルエンザ患者報告状況

定点医療機関(小児科 27 所、内科 14 ヶ所)からの患者報告数は 2,332 人、定点当たり報告数は先週の 30.46 人から 56.88 人と大きく増加しました。先週に引き続き流行警報開始基準値(定点当たり 30 人)を超え、市内では大きな流行が継続しているとみられ、注意が必要です。

基幹定点医療機関(1 ヶ所)からインフルエンザによる入院患者の報告が 12 人(A型 11 人、不明 1 人)ありました。

埼玉県内の定点当たり報告数は 70.03 人です。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第 3 週は、学級閉鎖 60 学級(32 校)、学年閉鎖 2 学年(2 校)の報告がありました。

区別の報告状況(2019年第3週)

	西区	北区	大宮区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区
学級閉鎖(学校数)	3	4	2	2	2	2	8	4	2	3
学年閉鎖(学校数)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0

3 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況

インフルエンザ検体のウイルス検出状況(2019年第3週)

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数 (患者数)	インフルエンザウイルス			
			AH1 pdm09	A香港	B山形 系統	Bビクト リア系統
18年第36週 ～18年第51週	9	9	5	4	0	0
2018年第52週	2	2	1	0	0	1
2019年第1週	1	1	0	1	0	0
第2週	5	5	1	3	0	1
第3週	7	7	2	5	0	0
合計	24	24	9	13	0	2

※病原体定点の先生方には、引き続き検体採取のご協力をお願いします。

市内で直近の4週間(第52週～第3週)に採取された 15 検体から、A香港型が 9 件、AH1pdm09 が 4 件、B 型ビクトリア系統が 2 件検出(PCR)されました。

国立感染症研究所ウイルス分離・検出速報(1 月 22 日作成版)によれば、第 51 週～第 2 週に全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 175 件(66.0%)、A香港型が 87 件(32.8%)、B型が 3 件(1.1%)でした。

★「さいたま市インフルエンザ週報」は、原則として患者報告が定点当たり 1 人を超えた際に作成しています。

★平成 31 年 1 月 22 日 13 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。